

2007/11/23 (金) 「第六回Wikiばな ～失敗Wiki/さびれWiki～」

いしだなおと 『失敗の要因を考える』

naoto@isnot.jp <http://isnot.jp/>

失敗とを感じるからには「想定される成功像」をもって
いるはずだが、それをいかに意識的にできるか。
目的もしくは終了条件(成功条件)をもつこと、
またそれを常に更新し続けることが成功の秘訣。

Webに何を期待するか (Wiki以前のITリテラシ)

Webを、「あらかじめ想定した答えを得る」ために使う。
未知の情報やニュースを知る機会がない
(他の手段で充足するか、そもそも意欲がないか)
コミュニケーション手段としては、よく知っている体裁の
アプリケーションでないと思いつらいと思っている

「巡回」の習慣がない

継続的にアクセスすること。用はなくても、
毎日トップページを見に行く。
あるいは差分RSSで話題・流れを追う。

「ウィキ」の認知の違い

局所的な経験と、曖昧な理解。体験が不足している。
導入しようとする人も、周りを見渡して自信がもてないでいる

確固たる何かは存在せず、「Wikiは遍在するもの」

「コラボレーション・ワーク」を意識できるか

自分だけが余計な苦勞をしていると思ってしまう、意識の萎え。
更新をすることとあわせて、それを周知できることが重要。
積極的な人がすくなくとも2人、できれば3人いるといいと思う。

「バージョン(履歴)管理」
の概念が不足している